

平成21年3月期(2009年3月期) 第1四半期連結決算 及び 通期 業績見通し

平成21年3月期 第1四半期連結決算のポイント

鉄鋼業界は、国内ではアジア諸国の景気拡大を背景とした外需に牽引され、造船、自動車、産業機械など製造業向けを中心に需要は堅調に推移した。輸出についても中国を始めとしたアジア諸国の経済成長を背景に高水準の需要を維持した。これら高水準の需要に加え、鉄鋼原料の販売価格の上昇、また原料価格の高騰に伴う鋼材価格の上昇等により売上高は前年同期比 884億円増収の 6,793億円。

経常利益は、JFE商事(単独)の増益(18億円)を始めとして、主に国内鉄鋼子会社の増益(25億円)が寄与し、前年同期比 45億円増益の 138億円。

四半期純利益は、前年同期比 21億円増益の 75億円となった。

総資産は、主に販売単価の上昇に伴う売上債権の増加等により、前期末比 514億円増の 7,078億円。
有利子負債は、法人税等の支払および販売単価の上昇に伴う運転資金の増加等により、前期末比 185億円増の 1,149億円。
純資産は、配当金(28億円)および為替換算調整勘定(34億円)による減少があったものの、四半期純利益 75億円や

【損益計算書】	(億円)			
	当第1四半期	前年同期	増減額	増減率
売上高	6,793	5,909	884	+15%
売上総利益	269	215	54	+25%
(売上総利益率)	(4.0%)	(3.6%)	(+0.4%)	
販売費及び一般管理費	139	130	9	+7%
営業利益	130	85	45	+53%
受取利息	2	3	1	
支払利息	8	7	1	
(金利収支)	(6)	(4)	(2)	
受取配当金	5	5	0	
(金融収支)	(1)	(1)	(2)	
持分法投資利益	5	7	2	
その他営業外損益	4	0	4	
営業外損益	8	8	0	
経常利益	138	93	45	+48%
特別利益	-	-	-	
特別損失	5	2	3	
法人税等	53	35	18	
少数株主利益	5	2	3	
四半期純利益	75	54	21	+39%

売上高

JFE商事(単独)	
(国内鉄鋼)	+121
(海外鉄鋼)	+3
(原材料・資機材)	+497
国内建材系分社3社	+170
海外CC(コイルセンター)	+25
その他子会社	+171
その他	+103
計	+884

売上総利益

JFE商事(単独) +10億円、国内建材系分社3社 +12億円
海外CC +10億円、その他 +22億円

販売費及び一般管理費
減価償却費等及びその他経費の増加

営業利益
売上総利益の増加54億円に販売費及び一般管理費の増加9億円を加味した結果、前年同期比45億円(53%)増の130億円

経常利益
前年同期比45億円(48%)増の138億円

特別損失
【当期】 棚卸資産評価損 5
【前期】 役員退職慰労引当金繰入額 2

【貸借対照表】	(億円)		
	当四半期末	前年度末	増減額
総資産	7,078	6,564	514
純資産	1,209	1,172	37
有利子負債	1,149	964	+185
有利子負債倍率(DER)	1.00倍	0.87倍	0.13倍
自己資本比率	16.2%	17.0%	0.8%

売上債権 +306(J商 +176、国内建材系分社3社 +118)
現預金 +103(J商 +68、他)、投資有価証券+38

利益剰余金 +47(利益75、配当 28)、評価差額等+24、
為替換算調整勘定 34

J商 +210(CP)、為替換算差額 35

「有利子負債÷(純資産-少数株主持分)」
「(純資産-少数株主持分)÷総資産」

【キャッシュ・フロー計算書】	(億円)	
	当四半期	前年同期
営業活動によるキャッシュ・フロー	41	→ 税前利益 +133、減価償却費 +14、営業債権債務 51、在庫増 46、税金の支払 91
投資活動によるキャッシュ・フロー	35	→ 固定資産の取得 30(J商 17、その他 13)、子会社取得 7 他
フリー・キャッシュ・フロー	76	
財務活動によるキャッシュ・フロー	184	→ CP +210、配当 28 他
現金及び現金同等物の期末残高	103	

【セグメント情報】

単位: 億円

セグメント	売上高			営業利益			主な内訳
	当四半期	前年同期	増減額	当四半期	前年同期	増減額	
鉄鋼、鉄鋼周辺	6,699	5,763	+936	128	83	+45	鉄鋼原料の輸入数量の増加および販売価格の上昇(JFE商事(単独))。原料価格高騰に伴う鋼材価格の上昇(JFE商事(単独)および関係会社)。水産物や中国産缶詰の取扱減少等により売上減。営業利益は「プライムドラフト」やGEISHA缶の取扱い数量増により増益。主力のASIC製品(川崎マイクロとの戦略同期化)や輸入半導体製品の取引が減少したことにより、売上・営業利益ともに減。保有不動産の早期売却に取組む。
食品	65	114	49	1	1	+0	
半導体	27	31	4	1	1	0	
不動産	1	1	0	0	0	+0	
合計	6,793	5,909	+884	130	85	+45	

【損益計算書項目の内訳】

【売上高】	(億円)			
	当四半期	前年同期	増減額	増減率
JFE商事(単体)	5,261	4,640	+621	+13%
(鉄鋼)	2,941	2,817	+124	+4%
(原材料・資機材・他)	2,320	1,823	+497	+27%
(分社3社)	1,048	878	+170	+19%
(海外CC)	238	213	+25	+12%
(その他子会社)	983	812	+171	+21%
連結子会社	2,269	1,903	+366	+19%
連結修正	819	765	54	
JFE商事(連結)	6,711	5,778	+933	+16%
分割3社他	82	131	49	37%
JFE商事HD(連結)	6,793	5,909	+884	+15%

【経常利益】	(億円)			
	当四半期	前年同期	増減額	増減率
JFE商事(単体)	86	68	+18	+26%
(分社3社)	20	10	+10	+100%
(海外CC)	10	4	+6	+150%
(その他子会社)	36	16	+20	+125%
連結子会社	66	30	+36	+120%
持分法会社	5	7	2	29%
連結修正	21	13	8	
JFE商事(連結)	136	92	+44	+48%
分割3社他	2	1	+1	+100%
JFE商事HD(連結)	138	93	+45	+48%

【四半期純利益】	(億円)			
	当四半期	前年同期	増減額	増減率
JFE商事(単体)	60	45	+15	+33%
(分社3社)	12	6	+6	+100%
(海外CC)	8	2	+6	+300%
(その他子会社)	20	9	+11	+122%
連結子会社	40	17	+23	+135%
持分法会社	5	7	2	29%
連結修正	26	16	10	
JFE商事(連結)	79	53	+26	+49%
分割3社他	4	1	5	-
JFE商事HD(連結)	75	54	+21	+39%

【平成21年3月期 業績および配当予想】

通期連結業績	今回公表時(7/31)		当初計画(4/28公表)		H20.3期実績
	第2四半期	通期	第2四半期	通期	
売上高(前期比)	14,100	28,600 (+18.9%)	12,900	27,400	24,047
営業利益(前期比)	255	500 (+33.5%)	190	435	374
経常利益(前期比)	260	500 (+27.4%)	190	430	392
当期純利益(前期比)	145	285 (+21.7%)	105	245	234

1株当たり配当(普通株)

5円	5円	5円	5円	10円
----	----	----	----	-----

【概要】

第2四半期連結累計期間の連結業績につきましては、鉄鋼および鉄鋼周辺事業において、第1四半期連結会計期間の業績が好調であったことに加え、鋼材や鉄鋼原料の価格上昇が予想されることから、前回業績予想(4月28日公表)に比べ、売上高は1,200億円増の1兆4,100億円、営業利益は65億円増の255億円、経常利益は70億円増の260億円、当期純利益は40億円増の145億円を見込む。

通期につきましては、売上高は1,200億円増の2兆8,600億円、営業利益は65億円増の500億円、経常利益は70億円増の500億円、当期純利益は40億円増の285億円を見込む。